

市長公室 令和8年度 局運営方針（案）

1 主な現状と課題

市民意識が成熟し、市民の行政ニーズが複雑・多様化する中で、情報発信・受信による市民との良好な関係づくりが重要性を増しています。

このような状況において、市政に対する市民の信頼感・共有感を高めるためには、効果的な市政情報の発信と的確な市民ニーズの把握が必要となります。

また、物価高の影響が長期化し、先行きを見通すことが依然として困難な社会情勢の中、国の動向等の情報を速やかに把握することが必要となります。

（1）市長・副市長の活動支援

市長が市を代表して行う活動を支援するとともに、市長・副市長のトップマネジメントを適切にサポートする必要があります。

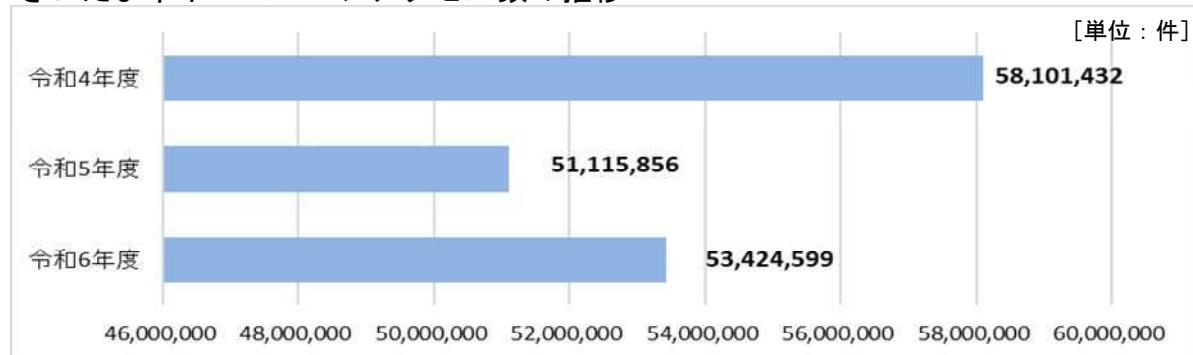
（2）市民に分かりやすい情報発信

市民が必要としている情報を分かりやすく発信するためには、市民の関心や情報の入手方法等の変化を勘案して、発信する情報やターゲット等に合わせた情報発信媒体を選択し、効果的な広報を推進していく必要があります。また、市民とコミュニケーションをとりながら、市民が欲しい情報を迅速かつ的確に把握したうえで提供することが、ますます重要になっています。

情報発信媒体（SNS）の登録者数の推移



さいたま市ホームページアクセス数の推移

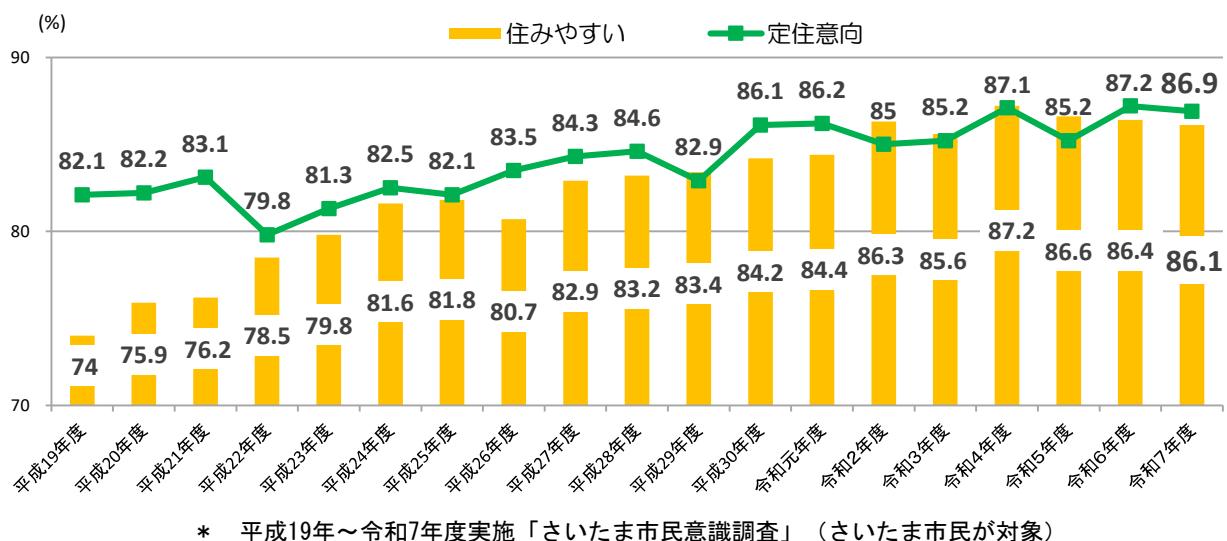


(3) 市民ニーズの把握

市民と市との間で情報や問題意識を共有し、市政に対する市民の信頼感を醸成するためには、多様化する市民ニーズを的確にとらえる必要があります。

令和7年度の市民意識調査では市民から見た「住みやすさ」は86.1%、「定住意向」は86.9%で、ともに高い水準を維持しています。

[住みやすさと定住意向の推移]



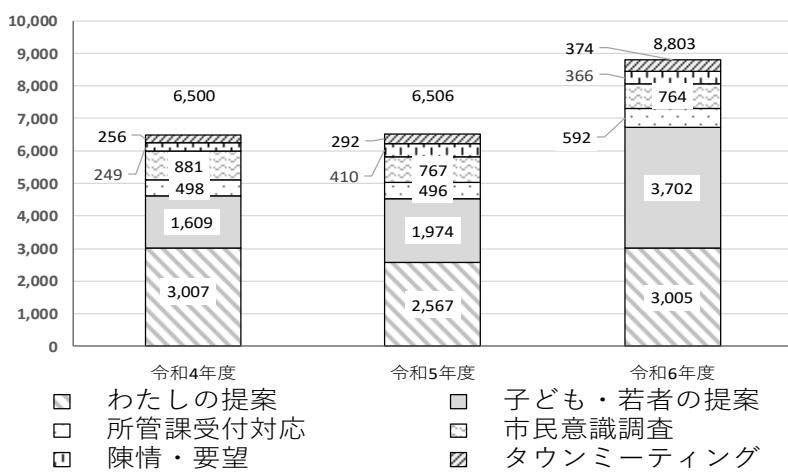
市民ニーズを的確にとらえるためには、必要な時に市政に対する意見を言える機会が確保され、広く市民に認知されていることが重要です。

また、市民の意見を市政へ一層反映させる取組を推進する必要があります。

さらに、市長への提案制度「わたしの提案」をはじめ、様々な機会を通じて寄せられる市民の声を効果的に集約し、庁内へ情報提供を行うことが求められています。

[寄せられた市民の声の推移]

[単位：件]



(4) 市政に関する情報の収集・提供及び市の魅力のPR

市の政策立案、施策・事業の推進及び市政の発展に寄与するため、省庁、指定都市東京事務所等の関係機関との連絡調整を密に行うことにより、市政運営に有益な情報を収集し、速やかに府内へ情報提供を行う必要があります。

また、都内から市に観光客等を呼び込むため、都内における市の魅力の発信に一層取り組むことが求められています。

2 基本方針・区分別主要事業

市長・副市長のトップマネジメントをサポートします。

市民に分かりやすく、効果的に情報を伝えることで、施策や事業に対する市民の関心・共感を高めます。

広く市民の声を聴取し、市民参加の市政を推進します。また、市民の声を集約し、傾向等を分析して市政への反映に資する情報として取りまとめるとともに、広聴事業の周知に努めます。

省庁等、関係機関との連絡調整を行い、効果的・積極的に市政に関する情報の収集・提供を行うとともに、市の魅力の発信に取り組みます。

(1) 市長・副市長の活動支援

*()内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和8年度	令和7年度	説明	掲載 ページ
1		秘書事務事業 〔秘書課〕	14,966 (14,966)	10,571 (10,571)	市長・副市長のトップマネジメントをサポートし、随行業務及び日程管理等を効率的に行うとともに、意思表明に必要な情報を適切に管理します。	II-9
2		表彰事業 〔秘書課〕	5,067 (5,067)	4,758 (4,758)	市政の振興発展に尽力いただき、顕著な功績のあった方々に対して表彰を行います。	II-9
3		市長交際費 〔秘書課〕	2,000 (2,000)	2,000 (2,000)	市政の円滑な運営を図るため、市長が市を代表して行う外部との交渉に要する経費として支出します。	II-9

(2) 市民に分かりやすい情報発信

*()内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和8年度	令和7年度	説明	掲載 ページ
4		市報さいたまの発行 〔広報課〕	299,856 (264,659)	293,651 (261,113)	市の施策や行事等の市政情報を掲載する広報紙を編集し、毎月1日に発行して、全世帯に配布します。	II-9
5	総振	市公式ホームページの運用 〔広報課〕	25,040 (23,456)	25,969 (24,544)	ホームページで市の施策や事業に関する情報を発信します。また、次期ホームページの構築を見据え、ホームページの調査等を実施します。	II-9
6		テレビ広報番組の制作 〔広報課〕	30,002 (30,002)	29,040 (29,040)	テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」を制作し、テレビ埼玉で放送するとともに、過去放送分をインターネットで動画配信します。	II-9
7	総振	S N Sによる情報発信 〔広報課〕	2,504 (2,504)	5,370 (5,370)	X (旧Twitter)、LINEなどの情報発信媒体を活用し、市民をはじめ広く多くの方に市政情報を発信します。	II-9

〔区分〕新規：新規事業 拡大：拡大事業 総振：総合振興計画実施計画事業

*()内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和8年度	令和7年度	説明	掲載 ページ
8		定例記者会見の情報発信 〔広報課〕	4,945 (4,945)	5,445 (5,445)	報道機関を通じて、市長自らが市政情報を発信します。また、広く市民などの視聴に供するため、インターネットによるライブ中継・録画配信等を行います。	II-9

(3) 市民ニーズの把握

*()内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和8年度	令和7年度	説明	掲載 ページ
9	総振	市民の声データベースシステムの運用 〔広聴課〕	10,567 (10,567)	11,160 (11,160)	市民の声を集約・庁内共有し、対応の迅速化・見える化を進め、傾向を分析して市政への反映に資する情報として提供します。また、反映状況の見える化を推進します。	II-10
10	総振	タウンミーティングの開催 〔広聴課〕	1,244 (1,244)	1,556 (1,556)	市民と市長が直接対話する機会として開催します。参加者は公募に加え、無作為抽出の手法を取り入れた「市民の声モニター」制度を活用します。	II-10
11	拡大 総振	市民意識調査、市民参加型意見共有デジタルプラットフォームの実施 〔広聴課〕	10,593 (10,593)	9,236 (9,236)	市政に関する市民意識を把握し、施策の立案・実施等の基礎資料とするため、アンケート調査を行います。また、デジタルプラットフォームを活用した市民の市政への参画を推進します。	II-10
12		さいたまコールセンターの運営 〔広聴課〕	126,557 (126,557)	126,553 (126,553)	市民サービス向上のため、本庁・区役所代表電話を含めた市民からの電話、FAX、電子メールによる問合せの回答や所管課への取次ぎ等を行うさいたまコールセンターを運営します。	II-10

(4) 市政に関連する情報の収集・提供及び市の魅力のPR

*()内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和8年度	令和7年度	説明	掲載 ページ
13		省庁等からの情報の収集及び連絡調整 〔東京事務所〕	1,225 (1,225)	1,249 (1,249)	日頃から省庁や指定都市東京事務所等の関係機関との連絡調整を密にしネットワークを広げ、国の予算に関する情報など、市政運営に有益な情報を収集し、迅速に所管課に提供します。	II-11
14		市の魅力のPRなど市政の情報発信 〔東京事務所〕	2,135 (2,135)	2,121 (2,121)	東京の立地を生かし、PR会場を新規開拓し、関係課と連携を図りながらイベントを行うなど、市内へ観光客等を呼び込むため、市の魅力や市政に関連する情報を発信します。	II-11

〔区分〕新規：新規事業 拡大：拡大事業 総振：総合振興計画実施計画事業

3 脱炭素化に資する主な取組一覧

(単位 : kg-CO₂)

課名等	事業名	取組の内容	CO ₂ 削減量
秘書課	会議・事務等のペーパーレス化	会議・事務等をペーパーレスで実施することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	20.8
広報課	広報媒体における脱炭素の呼びかけ	市報、ホームページ、SNS等にて脱炭素に関する内容を周知することで、市民の行動変容を促すことにより、温室効果ガスの削減に努めます。	15,258.0
広聴課	広聴事業における脱炭素関連内容の呼びかけ	脱炭素に関連する内容を意見提出用封筒へ印刷し、市民の行動変容を促すことで、温室効果ガスの削減に努めます。	105.6
広聴課	紙使用量削減の実施	子ども・若者の提案チラシの電子化や、さいたまコールセンターのPRチラシの作成部数を見直すことにより、温室効果ガスの削減に努めます。	160.8
東京事務所	節電の実施	執務室内において、節電を実施することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	36.3

4 見直し事業一覧

(単位：千円)

事務事業名	主な事業	主な見直しの理由及び内容	見直し額
秘書事務事業	秘書事務事業	紙削減の実現状況等を踏まえて、消耗品費の予算額を縮小する。	△ 212
広報事業	定例記者会見の情報発信	リアルタイム字幕の作成を人作業から音声認識ソフトに見直すことにより、予算額を縮小する。	△ 500
広聴事業	市民の声データベースシステムの運用	旅費等の見直しにより、予算額を縮小する。	△ 136
広聴事業	タウンミーティングの開催	オンライン推進により、通信運搬費の予算額を縮小する。	△ 14
広聴事業	市長への提案制度の実施	消耗品費の見直しにより、予算額を縮小する。	△ 5
広聴事業	市民意識調査、市民参加型意見共有デジタルプラットフォームの実施	返信数の見直しにより、通信運搬費の予算額を縮小する。	△ 39
広聴事業	パブリック・コメント手続の支援	消耗品費の見直しにより、予算額を縮小する。	△ 1
広聴事業	子ども・若者からの意見募集	チラシを電子化したことにより、印刷製本費等の予算計上を廃止する。	△ 247
コールセンター運営事業	さいたまコールセンターの周知	チラシの枚数を見直し、予算額を縮小する。	△ 13

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	秘書事務事業	予算額	22,033
局/部/課	市長公室/秘書広報部/秘書課	[財源内訳]	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/1目 一般管理費	- 一般財源	22,033
<事業の目的・内容>			
	市長・副市長の日程の調整を中心とした秘書業務を行うとともに、市長が市を代表して行う活動の支援を行います。また、市政の振興発展に尽力いただき、顕著な功績のあった方々に対する表彰を行います。		
		前年度予算額	17,329
		増減	4,704

<主な事業>

1 秘書事務事業	14,966
	市長・副市長のトップマネジメントをサポートし、随行業務及び日程管理等を効率的に行うとともに、意思表明に必要な情報を適切に管理します。
2 表彰事業	5,067
	市政の振興発展に尽力いただき、顕著な功績のあった方々に対して表彰を行います。
3 市長交際費	2,000
	市政の円滑な運営を図るため、市長が市を代表して行う外部との交渉に要する経費として支出します。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	広報事業	予算額	376,419
局/部/課	市長公室/秘書広報部/広報課	[財源内訳]	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	予算書 P. 117	
<事業の目的・内容>			
	広報紙「市報さいたま」、市公式ホームページ、テレビ広報番組をはじめとした様々な広報媒体や手法を活用して、市民に分かりやすく、効果的に情報発信をします。また、情報発信を通じて市の施策や事業に対する市民の関心・共感を高めます。		
		18款 国庫支出金	3,665
		19款 県支出金	1,832
		20款 財産収入	524
		24款 諸収入	35,003
		- 一般財源	335,395
		前年度予算額	377,013
		増減	△ 594

<主な事業>

1 市報さいたまの発行	299,856	4 SNSによる情報発信	2,504
	市の施策や行事等の市政情報を掲載する広報紙を編集し、毎月1日に発行して、全世帯に配布します。	X (旧Twitter)、LINEなどの情報発信媒体を活用し、市民をはじめ広く多くの方に市政情報を発信します。	[総振：52-1-1-01]
2 市公式ホームページの運用	25,040	5 定例記者会見の情報発信	4,945
	ホームページで市の施策や事業に関する情報等を発信します。また、次期ホームページの構築を見据え、ホームページの調査等を実施します。	報道機関を通じて、市長自らが市政情報を発信します。また、広く市民などの視聴に供するため、インターネットによるライブ中継・録画配信等を行います。	
	[総振：52-1-1-01]		
3 テレビ広報番組の制作	30,002	6 広報事業その他	14,072
	テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」を制作し、テレビ埼玉で放送するとともに、過去放送分をインターネットで動画配信します。	F Mラジオ、出前講座等の各種媒体の活用により、市政情報や市の魅力等の発信を行います。	

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	広聴事業	予算額	22,850
局/部/課	市長公室/秘書広報部/広聴課	[財源内訳]	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	- 一般財源	22,850
<事業の目的・内容>	広く市民の声を聴取し、市民参加の市政を推進するために、市長への提案制度、タウンミーティング、市民意識調査、パブリック・コメントなどの広聴事業を行います。		
		前年度予算額	22,672
		増減	178

<主な事業>

1 市民の声データベースシステムの運用	10,567	4 市民意識調査、市民参加型意見共有デジタルプラットフォームの実施	10,593	
市民の声を集約・庁内共有し、対応の迅速化・見える化を進め、傾向を分析して市政への反映に資する情報として提供します。また、反映状況の見える化を推進します。				
	[総振：52-1-1-02]	4 市民意識調査、市民参加型意見共有デジタルプラットフォームの実施	10,593	
2 タウンミーティングの開催	1,244	市政に関する市民意識を把握し、施策の立案・実施等の基礎資料とするため、アンケート調査を行います。また、デジタルプラットフォームを活用した市民の市政への参画を推進します。		
市民と市長が直接対話する機会として開催します。参加者は公募に加え、無作為抽出の手法を取り入れた「市民の声モニター」制度を活用します。				
	[総振：52-1-1-02]	5 パブリック・コメント手続の支援	67	
3 市長への提案制度の実施	363	パブリック・コメント制度に基づく意見を提出しやすくなるための専用封筒を作成及び配置します。また、制度に対する職員の理解を深めるための研修を実施します。		
市民意見を市政へ反映するため、公共施設等に配置した専用封筒、FAX及びWeb投稿により市民から市政に対する意見・要望等を聴取し、傾向を把握します。				
	[総振：52-1-1-02]	6 子ども・若者からの意見募集	16	
		子ども・若者の意見を市政へ反映するため、テーマに沿った意見を募集します。		
	[総振：52-1-1-02]		[総振：52-1-1-02]	

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	コールセンター運営事業	予算額	126,610
局/部/課	市長公室/秘書広報部/広聴課	[財源内訳]	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	- 一般財源	126,610
<事業の目的・内容>	本庁及び区代表電話を含めた市民からの問合せ等に対して1つの窓口で迅速かつ責任ある対応を行うとともに、市政への要望等を的確に把握し、市民サービスの向上を図ることを目的としたさいたまコールセンターを運営します。		
		前年度予算額	126,619
		増減	△ 9

<主な事業>

1 さいたまコールセンターの運営	126,557	[参考] 【開設時間等】 年中無休 電話 8時～21時受付・対応 FAX・電子メール 24時間受付（対応は8時～21時）
2 さいたまコールセンターの周知	53	

市民周知のためのチラシ等を作成及び配置します。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	東京事務所管理運営事業	予算額	10,292
局/部/課	市長公室/東京事務所	[財源内訳]	
款/項/目	2款 総務費/2項 企画費/1目 企画総務費	- 一般財源	10,292
<事業の目的・内容>			
市の政策立案、施策・事業の推進及び市政の発展に寄与するため、省庁、指定都市東京事務所等の関係機関との連絡調整を密に行うことにより、市政運営に有益な情報を収集し、速やかに府内へ情報提供を行います。			
また、都内から市に観光客等を呼び込むため、都内における市の魅力の発信に取り組みます。			
		前年度予算額	10,311
		増減	△ 19
<主な事業>			
1 省庁等からの情報の収集及び連絡調整	1,225		
日頃から省庁や指定都市東京事務所等の関係機関との連絡調整を密にしネットワークを広げ、国の予算に関する情報など、市政運営に有益な情報を収集し、迅速に所管課に提供します。			
2 市の魅力のPRなど市政の情報発信	2,135		
東京の立地を生かし、PR会場を新規開拓し、関係課と連携を図りながらイベントを行うなど、市内へ観光客等を呼び込むため、市の魅力や市政に関連する情報を発信します。			
3 事務所の維持管理	6,932		
所管事務を円滑に遂行するため、事務所の賃借やOA機器類の賃借等、事務所の適切な維持管理を行います。			